

平成29年3月期 第1四半期決算概要

1. 連結業績

[単位:百万円]

	当第1四半期 連結累計期間 (H28.4.1- H28.6.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H27.4.1- H27.6.30)	増減	
			金額	率
売上高	7,313	7,222	91	1.3%
営業利益	377	63	314	498.4%
金融収支	△ 8	△ 2	△ 6	※1
その他営業外	20	68	△ 48	※2
持分法損益	△ 12	△ 17	5	※3
経常利益	377	112	265	236.6%
税引前利益	377	112	265	236.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	284	71	213	300.0%
1株当り四半期純利益	2円70銭	0円68銭		

※1 金融収支の主な内訳

	H28/6	H27/6	差
受取配当金	7	16	△9
支払利息	△15	△18	+3

※2 その他営業外差異主な内訳

	H28/6	H27/6	差
固定資産受贈益	—	22	△22
為替差損益	△14	2	△16

※3 小名浜海陸運送

	H28/6	H27/6	差
	△12	△17	+5

①セグメント別売上高(連結)

		当第1四半期 連結累計期間 (H28.4.1- H28.6.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H27.4.1- H27.6.30)	増減
報告セグメント	無機化学品	3,476	3,660	△ 184
	機能化学品・化成品	2,519	2,816	△ 297
	エンジニアリング	967	405	562
	貨物運送・荷役	286	264	22
その他	24	33	△ 9	
調整額	41	44	△ 3	
計	7,313	7,222	91	

合成石英粉は半導体関連分野が堅調に推移したことから増収となるも、フッ素系製品は国際市況が下落したことによる影響及び主要顧客向け販売減少等により、対前年同期比減収

紫外線硬化性樹脂は需要が堅調に推移したこと等から増収となるも、MA-100は国際市況が下落したことによる影響及びTAIC®(ゴム、プラスチック架橋助剤)は主要顧客向け販売が減少したこと等から、対前年同期比減収

前期からの大型繰越受注案件の検収があったことから、対前年同期比増収

新規案件の獲得等により、対前年同期比増収

有機溶剤等の蒸留・精製業については主要顧客向け販売減等により、対前年同期比減収

上記セグメントに属さない電気・蒸気等のコーポレート部門の売上高を調整額として表示

②セグメント別営業利益(連結)

		当第1四半期 連結累計期間 (H28.4.1- H28.6.30)	前年同四半期 連結累計期間 (H27.4.1- H27.6.30)	増減
報告セグメント	無機化学品	162	52	110
	機能化学品・化成品	136	15	121
	エンジニアリング	73	△ 68	141
	貨物運送・荷役	13	10	3
その他	△ 5	5	△ 10	
調整額	△ 2	49	△ 51	
計	377	63	314	

合成石英粉、AdBlue® 需要が堅調に推移し、対前年同期比増益

紫外線硬化性樹脂の需要が堅調に推移したこと等に加え、一部機能化学品における前倒し需要対応等もあり対前年同期比増益

前期からの大型繰越受注案件の検収があったこと等から、対前年同期比増益

新規案件の獲得等により、対前年同期比増益

有機溶剤等の蒸留・精製業については主要顧客向け販売減等により、対前年同期比減益

原価差額及び上記セグメントに属さない電気・蒸気等のコーポレート部門の損益を調整額として表示

2. 連結比較貸借対照表

	当第1四半期 連結会計期間末 (H28.6.30)	前連結会計 年度末 (H28.3.31)	増減		当第1四半期 連結会計期間末 (H28.6.30)	前連結会計 年度末 (H28.3.31)	増減
現預金	1,475	1,084	391	有利子負債	8,130	8,172	△ 42
売上債権	7,946	9,650	△ 1,704	仕入債務	4,381	5,125	△ 744
たな卸資産	4,169	4,223	△ 54	その他負債	6,668	6,151	517
固定資産(有形・無形)	11,265	11,336	△ 71	株主資本	13,250	13,386	△ 136
投融資等	5,532	5,563	△ 31	その他の包括利益累計額	△ 118	△ 111	△ 7
その他資産 ※	1,924	867	1,057				
資産合計	32,311	32,723	△ 412	負債・純資産合計	32,311	32,723	△ 412

(注) 自己資本=純資産-非支配株主持分

D/Eレオ=有利子負債/自己資本

自己資本

自己資本比率

有利子負債

D/Eレオ

※ 増減内訳: 短期貸付金 +999 等

### 3. 連結キャッシュ・フロー

	当第1四半期 連結累計期間 (H28.4.1- H28.6.30)
営業活動によるCF	1,970
投資活動によるCF	△1,169
フリー・キャッシュ・フロー	801
財務活動によるCF	△408
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△2
現金及び現金同等物の 増減	391

税引前利益 377、減価償却費 236、売上債権の減少額 1,704、その他流動負債の増加額 617、仕入債務の減少額 △744、賞与引当金の減少額等 △220

短期貸付金の増加額 △999、設備投資等 △170

配当金の支払 △366、借入金の返済等 △42

(参考)

前年同四半期 連結累計期間 (H27.4.1- H27.6.30)
883
△308
575
△436
0
139

### 4. 連結通期業績予想

(平成28年8月5日発表)

	29年3月期			28年3月期 実績	増減	
	上期	下期	通期		金額	率
売上高	15,300	19,200	34,500	32,871	1,629	5.0%
営業利益	450	670	1,120	1,112	8	0.7%
経常利益	460	930	1,390	1,567	△177	-11.3%
特別損益	-	△300	△300	△194	△106	
税引前利益	460	630	1,090	1,373	△283	-20.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	320	440	760	895	△135	-15.1%
1株当たり当期純利益	3円5銭	4円18銭	7円23銭	8円52銭		
1株当たり配当金(期末のみ)		4円	4円	4円		

#### ①セグメント別売上高

	29年3月期			28年3月期 実績	増減		
	上期	下期	通期				
報告 セグメント	無機化学品	7,400	9,200	16,600	15,738	862	アモニア系製品の主要顧客向け販売回復、AdBlue <sup>®</sup> 等の拡販努力により増収
	機能化学品・化成品	5,250	6,250	11,500	11,120	380	ホルマリン・木材加工用接着剤の合板メーカー減産緩和による需要回復等により増収
	エンジニアリング	1,900	3,000	4,900	4,560	340	工事受注回復等により増収
	貨物運送・荷役	620	590	1,210	1,163	47	主要顧客向け運送量増等により増収
その他	50	70	120	122	△2	有機溶剤等の蒸留・精製業について、主要顧客向け販売の減少等により減収	
調整額	80	90	170	168	2	上記セグメントに属さないコーポレート部門の売上高を調整額として表示	
計	15,300	19,200	34,500	32,871	1,629		

#### ②セグメント別営業利益

	29年3月期			28年3月期 実績	増減		
	上期	下期	通期				
報告 セグメント	無機化学品	180	330	510	392	118	アモニア系製品の主要顧客向け販売回復、AdBlue <sup>®</sup> 等の拡販努力により増収
	機能化学品・化成品	180	210	390	381	9	ホルマリン・木材加工用接着剤の合板メーカー減産緩和による需要回復あるも、機能化学品関連の競争環境激化等により微増
	エンジニアリング	70	90	160	149	11	工事受注努力等により微増
	貨物運送・荷役	30	20	50	59	△9	車両の更新等による経費増により微減
その他	△10	20	10	19	△9	有機溶剤等の蒸留・精製業について、主要顧客向け販売の減少等により減収	
調整額	0	0	0	112	△112	上記セグメントに属さないコーポレート部門の損益を調整額として表示	
計	450	670	1,120	1,112	8		